

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

	コード	名 称		コード	名 称
事業名	830	東海自然歩道管理経費	会計	01	一般会計
基本施策	44	資源ともてなしの心を活かし、観光を振興する	款	07	商工費
			項	01	商工費
			目	03	観光費
担当部課名	青山支所産業建設課		細目	102	観光施設維持管理事業
作成者氏名	山内 敏	連絡先	細々目	02	東海自然歩道管理経費
		52-3220			

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	東海自然歩道利用者	自然歩道の除草、パトロールを実施することにより、通行客の安全と快適性を確保する。
本年度事業内容	県からの維持管理受託(除草、パトロール)	
運営主体	☐ 直営 ☐ 指定管理 ☒ 民間委託等 (委託先:高尾区、伊勢路区)	根拠法令・要綱等 自然公園法
市内の類似施設		

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	537	553	553
	委託料	537	538	538
	修繕料			5
	その他		15	10
合計(A+B)		1,257	1,273	1,273
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金		553	553
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	1,257	720	720
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値	目標値	
		H17	H18	H19
除草	回	2	2	2
パトロール	回	12	12	12

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
改善・修繕箇所数の把握による施設のクオリティー水準の確保	放置すれば年々下落するクオリティー水準を、利用者側の協力を得、管理者(環境省、県)に対し維持するよう働きかけを行う。また、軽度の修繕を積み上げ、繰り返し、できるだけ重大な損傷を未然に防ぐ。	箇所	2 目標 ()	2	2
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

東海自然歩道は設置から相当年が経過し、木製階段、擬木階段、案内看板等が老朽化しているが管理者である県の予算が少ないので十分な修繕ができないまま危険な状況が続いている。

評価	必要性	4	老朽化した施設の補修事業費の確保のための対策、H.Pを通じ利用者からの要望受付、利用拡大、世論形成の上、関係自治体との連携による予算拡充運動に繋げる必要あり。	総合評価
	有効性	4		B
	達成度	2		
	効率性	2		